

「プロカメラマンが贈る100の格言」(2012)

- 1) 高価な機材を使っているからと言って、腕のいいカメラマンとは限らない。
- 2) 常に RAW で撮影すること。
- 3) **単焦点レンズでの撮影は、腕磨きになる。**
- 4) **写真編集はそれだけで、1つのアートだと言える。**
- 5) **三分割法は99%の場合において効果的である。**
- 6) マクロ写真は誰でもできるわけではない。
- 7) UV フィルターはレンズキャップの役割もある。
- 8) 写真フォーラムなんかは何時間も行くよりは、外に出て写真を撮った方がいい。
- 9) **平凡な日々の生活の中にある美しい一瞬を切り取ること。それが、入賞作品になる。**
- 10) フィルムがデジタルより良いというわけではない。
- 11) デジタルがフィルムより良いというわけでもない。
- 12) 魔法のカメラやレンズなんてものは存在しない。
- 13) 良いレンズを使ったからと言って、良い写真が撮れるとは限らない。
- 14) 他の人の作品を見続けるよりも、自分の写真を撮りに行くこと。
- 15) パーティーにデジタル一眼レフは持って行くな。
- 16) 女はカメラマンに弱い。
- 17) 写真を白黒にしたからといって、アーティスティックな感じになるわけではない。

- 18) Photoshop 使ったというと、なぜか人は急にあなたの写真の価値を下げる。こういう時は、「Photoshop」ではなく「デジタル暗室」という言い方をすること。
- 19) 何でもかんでも写真に撮れば良いというわけではない。
- 20) 少なくとも2つバックアップをとっておくこと。戦争での、2は1、1は0という考え方と同じ。
- 21) ネックストラップはやめて、ハンドストラップを使うこと。
- 22) **被写体に近づくこと。大抵の場合、その方がいい写真が撮れる。**
- 23) **撮影中はその場の一員となること。傍観者にはなるな。**
- 24) **かがむ等して目線を下げて写真を撮ること。大抵の場合その方がより面白い写真が撮れる。**
- 25) **技術的な心配をするよりも、フレーミングや写真の構成に注視すること。**
- 26) 機材にあるロゴを黒いテープ等で隠してしまうこと。これによって自分があまり目立たなくなる。
- 27) 明るい日中に撮影する場合は常に露出少なめ、2/3程度で撮影すること。
- 28) **撮れば撮るほど、上手くなる。**
- 29) **露出や、アングル、F値を変えて、同じ場所で数枚撮影するのを恐れないこと。**
- 30) ベストの1枚だけを人に見せること。
- 31) コンデジもカメラである。
- 32) オンラインの写真フォーラムに参加してみることに。
- 33) **他の人の作品を批評してみることに。**
- 34) **撮る前によく考えることに。**

- 35) 良い写真に説明はいらない（しかし、時に背景にある情報が画に意味合いを持たせることはある）。
- 36) お酒と写真の相性は良くない。
- 37) 他のカメラマンから影響を受けるのはいい。しかし、崇拜してはいけない。
- 38) **粒子は美しい。**
- 39) カメラ用バッグは捨てて、メッセンジャーバッグを使うこと。レンズやカメラが取り出しやすくなる。
- 40) **シンプルさが鍵。**
- 41) **フォトグラフィーは、「光で描く」という意味。光を操ること。**
- 42) **自分のスタイルを見つけて、貫くこと。**
- 43) セカンドモニターは便利。
- 44) Silver EFEX Pro は最適の白黒加工ツール。
- 45) **どこに行くにもカメラを持って行くこと。**
- 46) 写真が人生を楽しむ障害になってしまっはいけない。
- 47) カメラを過保護に扱ってはいけない。使い倒すこと。
- 48) **ストレートフォトグラフィーを撮ること。**
- 49) 自信を持って撮影すること。
- 50) 写真と並列配置の相性は抜群。
- 51) **写真は大きくプリントすること。見ていると嬉しくなる。**
- 52) 写真を友人にプレゼントすること。
- 53) 写真を他人にもプレゼントすること。
- 54) フレームに入れるのも忘れずに

- 55) コストコのプリントは安いけど、質が良い。
- 56) **友達と出掛けて写真を撮ること。**
- 57) **写真クラブに参加すること、又は自分でクラブを始めること。**
- 58) 写真は素敵なプレゼントになる。
- 59) 他人の写真を撮るのはスリルがある。
- 60) **自然体**>ポーズとる。
- 61) **自然光は最高の照明。**
- 62) 35mm はベストなウォークアラウンド焦点距離。
- 63) 必要があれば、ISO を上げるのを恐れないこと。
- 64) どこにでも三脚を持って行く必要はない。
- 65) 露出高めよりも低めで撮影する方が良い。
- 66) ホームレスの人を撮影すればアートっぽいと思っているのは、実に利己的だ。
- 67) 全く期待していない時ほど、シャッターチャンスはやってくるものだ。
- 68) **人間が写っている写真の方がより面白みがある。**
- 69) ダメな写真をいくら Photoshop したところで、いい画になるわけではない。
- 70) 最近では、誰でもかれでもカメラマンである。
- 71) パリに行かないと良い写真が撮れないなんてことはない。良い写真は裏庭でだって撮れる。
- 72) デジタル一眼でポートレートを撮影する時に、グリップが下を向いている人は馬鹿みたいに見える。
- 73) カメラは道具だ、オモチャではない。
- 74) **構成という点において、写真と絵画に大きな違いはない。**

- 75) 写真は趣味ではない。ライフスタイルだ。
- 76) 言い訳はなし。
- 77) **オリジナルな写真を撮ること。他人のスタイルをマネしてはいけない。**
- 78) **良い写真とは、見る人がもっと聞きたくなるようなストーリーを持っているものだ。**
- 79) 黒以外のカメラは、人目を惹きすぎる。
- 80) 機材を多く持ち歩けば持ち歩く程、写真を楽しむ余裕がなくなる。
- 81) 上手い自画像を撮るのは、思っているよりも難しい。
- 82) 笑わせることで、モデルの人柄を引き出せる。
- 83) 撮影中に怪しい人と思われないように。周りの環境に馴染むこと。
- 84) **風景写真は飽きる。**
- 85) **写真を撮っている時は、まず楽しむこと。**
- 86) 撮った写真は消さないこと。
- 87) 人や場所を撮影する時は、敬意を表すること。
- 88) **路上で自然に人々を撮影する場合は、望遠レンズよりも広角レンズを使うこと。**
- 89) **旅行と写真は、最高のカップル。**
- 90) ヒストグラムの読み方は知っておくこと。
- 91) ノイズのある写真は、ボケ写真よりもマシである。
- 92) 雨の中で写真を撮ることを怖がらないこと。
- 93) 完璧な写真を撮ろうと必死になるよりも、その瞬間を楽しむこと。
- 94) お腹がすいている時は、写真をとらないこと。
- 95) 写真を通して、自分を再発見することは多い。

- 96) 写真で得たインサイトを秘密にせずに、世界と共有すること。
- 97) 写真を撮るのをやめないこと。
- 98) 写真はただ単純に写真を撮るだけではない。人生における哲学である。
- 99) **決定的な瞬間を切り取ること。**
- 100) 自分自身の写真ティップスリストを書くこと。

Note : **赤文字は** Kobayashi が自戒を込めて心に留めた格言です。